

## はしがき

本報告書は、当研究所が令和2～4年度外務省外交・安全保障調査研究事業（発展型総合事業）「国際秩序の転換期における日本の秩序形成戦略－台頭する中国と日米欧の新たな協調」のサブ・プロジェクトの一つとして実施してきた研究プロジェクト「国際秩序の動揺と米国のグローバル・リーダーシップの行方」における1年目の成果をとりまとめたものです。

米中の対立と戦略的競争は、軍事・安全保障から先端技術、サプライチェーンの支配、新型コロナ対応をめぐるナラティブに至るまで、あらゆる分野で一層激化し、ルールに基づく国際秩序は一層激しい試練に直面しています。中国が法の支配や領土問題に関する一層強権的・高圧的な内外政策をとると同時に、経済支援やコロナ対応を通じても影響力拡大の動きを進め、米国がこれに対応するという構図が深まり、インド太平洋は分断と競争の大洋となる様相を深めています。

本プロジェクトは、このような国際情勢認識の下、トランプ政権とそれに続くバイデン政権における米国の内政と外交をめぐる諸問題について分析し、現況を的確に把握することに努めた研究成果です。

なお、ここに表明されている見解は、すべて個人のものであり、当研究所の意見を代表するものではありません。本報告書がわが国の外交実践に多く寄与することを心より期待します。本報告書に対する忌憚なきご意見、ご批判をいただければ幸いです。

最後に、本研究に積極的に取り組まれ、報告書の作成に尽力いただいた執筆者各位、ならびにその過程でご協力いただいた関係各位に対し改めて深甚なる謝意を表します。

令和3年3月

公益財団法人 日本国際問題研究所  
理事長 佐々江 賢一郎

## 研究体制

主査：	中山 俊宏	慶應義塾大学教授／ 日本国際問題研究所上席客員研究員
委員兼研究顧問：	久保 文明	東京大学教授／ 日本国際問題研究所上席客員研究員
委員：	飯田 健	同志社大学教授
	梅川 健	東京都立大学教授
	梅川 葉菜	駒澤大学准教授
	小濱 祥子	北海道大学准教授
	佐橋 亮	東京大学准教授
	待鳥 聡史	京都大学教授
	森 聡	法政大学教授
	渡辺 将人	北海道大学准教授
委員兼幹事：	市川とみ子	日本国際問題研究所所長
	永瀬 健介	日本国際問題研究所研究調整部長
	舟津奈緒子	日本国際問題研究所研究員
担当助手：	井原 弥生	日本国際問題研究所研究助手

## 目 次

第 1 章	バイデン政権発足の意味	中山 俊宏……………1
第 2 章	政党支持の構造変化と大統領	待鳥 聡史……………9
第 3 章	2016 年における予測の失敗と 2020 年大統領選挙	飯田 健…………… 17
第 4 章	アメリカ大統領と「国家緊急事態宣言」	梅川 健…………… 29
第 5 章	アメリカの連邦制と新型コロナウイルス	梅川 葉菜…………… 37
第 6 章	米国民の対日認識と世論調査	小濱 祥子…………… 43
第 7 章	外国勢力によるアメリカの政治過程への介入 ーメディア環境の変容と中国の事例を中心にー	渡辺 将人…………… 57
第 8 章	トランプ政権の米中関係とバイデン政権の対中政策	舟津奈緒子…………… 69
第 9 章	アメリカの台湾政策	佐橋 亮…………… 73
第 10 章	バイデン政権の「中間層のための対外政策」 ーアメリカ市民の対外観と政権の外交構想	森 聡…………… 81
第 11 章	バイデンと中国	久保 文明…………… 91